

2023 年 7 月 28 日（金）

報道関係各位
プレスリリース

株式会社 SkyDrive

**SkyDrive、アヴィダイン社（米）とアビオニクス・システムの
サプライヤー契約を締結**

2023 年 7 月 25 日、EAA エア・ベンチャー・オシュコシュ 2023 において、「空飛ぶクルマ」（※1）および「物流ドローン」を開発する株式会社 SkyDrive（本社：愛知県豊田市、代表取締役 CEO 福澤知浩、以下「当社」）は、アビオニクス・システムの業界リーダーである Avidyne Corporation（本社：アメリカ・フロリダ州、CEO Dan Schwinn、以下「アヴィダイン社」）とアビオニクス・システムのサプライヤー契約を締結した事を発表いたしました。



2023 年 7 月 25 日（現地時間）EAA エア・ベンチャー・オシュコシュ 2023 にて
左から、株式会社 SkyDrive 代表取締役 CEO 福澤知浩、Avidyne Corporation CEO Dan Schwinn (ダン・シュウィン)

当社は、誰もが日常的に空飛ぶクルマで移動できる未来を目指し、現在、軽量で 3 人乗り、電動の空飛ぶクルマ「SKYDRIVE」（SkyDrive 式 SD-05 型機）の開発に取り組んでいます。

アヴィダイン社は、先進技術を応用してアビオニクスを近代化し、航空機の安全性と実用性を向上させることをミッションとして 1994 年に設立されました。20 年以上にわたり、アヴィダイン社は様々な航空機に搭載しやすい、統合型アビオニクス・システムの設計と製造において市場を牽引してきました。

当社の空飛ぶクルマ「SKYDRIVE」には、小型で軽量、信頼性の高いシステムコンポーネントが組み込まれたアヴィダイン社の「Quantum Open Avionics Platform」を搭載いたします。

■ 各コメント

株式会社 SkyDrive 最高開発責任者 Arnaud Coville (アーノ・コーヴィル)

当社の空飛ぶクルマ「SKYDRIVE」のアビオニクスに関するパートナーとして、アヴィダイン社を迎えることができ、大変嬉しく思います。アビオニクスは空飛ぶクルマにおいて重要なシステムの一つです。アヴィダイン社のシステムは、性能、重量、コストにおいて非常に競争力があり、採用に至りました。

Avidyne Corporation CEO Dan Schwinn (ダン・シュウィン)

SkyDrive との契約は、当社のアビオニクス・システムの可能性を広げる、またとない機会です。この革新的な新型機のためのソリューションを開発・提供するパートナーに選ばれたことを光栄に思います。

■ 空飛ぶクルマ「SKYDRIVE」の概要

「SKYDRIVE」は、「電動」「垂直離着陸」といった特徴を備えた軽量の航空機です。3 人乗り（乗客 2 名とパイロット 1 名）で、パイロットが操縦しますが、コンピュータ制御のアシストにより、飛行を安定させています。当社は、将来的に空飛ぶクルマが、自動車のように日常的に空の移動手段として使われる世界を目指して、引き続き開発を進めてまいります。



※1 空飛ぶクルマとは：電動化、自動化といった航空技術や垂直離着陸などの運航形態によって実現される、利用しやすく持続可能な次世代の空の移動手段です。諸外国では、Advanced Air Mobility（AAM）や Urban Air Mobility（UAM）と呼ばれています。

引用元：国土交通省（令和5年3月付） <https://www.mlit.go.jp/common/001598463.pdf>

＜株式会社 SkyDrive 概要＞

設立	2018 年 7 月
代表者	代表取締役 CEO 福澤知浩
URL	https://skydrive2020.com/
所在地	豊田本社：愛知県豊田市挙母町 2-1-1 豊田開発センター：愛知県豊田市西中山町山ノ田 20-2 豊田テストフィールド：愛知県豊田市足助地区 名古屋オフィス：名古屋市中村区名駅 3-28-12 大名古屋ビルディング 11F 東京オフィス：東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー 7F SPACES 品川内 大阪オフィス：大阪府大阪市北区梅田 1-3-1-800 大阪駅前第一ビル 8F アメリカオフィス：500 Carteret Street, Suite D, Beaufort, SC 29902

事業内容	「100 年に一度のモビリティ革命を牽引する」をミッションに、「日常の移動に空を活用する」未来を実現するべく、2018 年 7 月に設立、豊田市を主拠 点に「空飛ぶクルマ」及び「物流ドローン」を開発しています。「空飛ぶク ルマ」の開発においては、国内で唯一、有人飛行試験を実現し、官民協議会 の構成員として制度設計にも関与しております。「空飛ぶクルマ」は、現在 3 人乗りの機体を開発中、2025 年に大阪・関西万博での運航開始を目指して おります。30kg の荷物を運搬可能な「物流ドローン」は、山間部を中心と した作業現場で活用いただいています。
------	--

本件に関するお問い合わせ

＜株式会社 SkyDrive＞

広報担当 大石

広報責任者 宮内

Email: info@skydrive.co.jp